

1学期 明るい子(交わりの参加する生活)

第1期(4月~5月) 期題「たのしいこどものもり」

\*新しい社会への不安よりもこども園で友だちと遊んだり、発見したりすることへの喜びを味わい、生活意欲が育つ。

字体が違うところは各コーナー、クラスのエピソードです

自然のコーナー: 自然いっぱいの子どものもりではたくさんの草花を遊びに取り入れ、楽しんでます。中でも草花クッキングが盛り上がっています。包丁や調理器具などを使い、食べ物などに見立てて作った料理を保育者に振舞ったり、テーブルに並べ友達とごっこ遊びを楽しんでいる姿が多く見られました。花びらをすり鉢ですりつぶすと水の色が変わり「本物のジュースみたいで美味しそう♪」と水の色が変化の様子を楽しんだり「きれいだね!」と感動していました。また、虫探しも大好きな子どもたち! 虫メガネやカップを持って友達を誘い虫探しを楽しんでいます。「ダンゴムシはジメジメした所が好きなんだよ」「ミミズは土をきれいにしてくれるんだよ」などと、こどものもりには虫探し名人がたくさんいます。また、分からないことがあると図鑑で調べたり観察しています。

5月の花まつりで親子でまいた種もぐんぐん育ってきています。「先生、ひまわりが大きくなってきたよ!」「芽が出たよ」と水やり当番さんを中心に小さいお友達も真似をしながらみんなで毎日水をあげています。これからも身近な自然を通して発見や驚き、感動体験など自然との出会いを大切にしていきたいです。

子どもたちの中で虫探しが盛り上がっています。ある日、梅の木に黒い身体にオレンジ色の虫をたくさん見つけました。良く観察してみると身体がトゲトゲしているので「毛虫かな〜」「何かな」と数人の子と話しているとその虫を見て「これはナナホシテントウムシの幼虫だよ!」と一人の子が図鑑を持ってきて教えてくれました。さらに「ご飯は何を食べるのかな」と聞かされると、「アブラムシを食べるんだよ!」と得意気に教えてくれました。周りにいた子からは「すごいね〜!」「虫博士みたい」と言う声が聞かれました。また、最初は「テントウムシになるまで飼ってみたい」と言う意見も出ましたがアブラムシを食べて成長することを知り「梅の木に戻してあげよう」「大きくなったらまた会おうね」と逃がしてあげていました。虫探しを通して生き物への優しい姿も見られてきています。



クッキングのコーナー: 子どもたちが入園進級した4月、竹藪には沢山の竹の子が育ったり、さくらんぼの木にも沢山の実がなり、子どもたちと収穫し味わいました。旬の食材が実るとその都度「どんなメニューにしたい?」と問いかけ、みんなでどんな料理にして味わいたいか考えています。子どもたちは家庭で食べたことの実験も踏まえながらメニューを考え教えてくれています。そんな中で竹の子はステーキやスープにしたり、さくらんぼはパフェやケーキ、ゼリーにして味わうことが出来ました。

料理の手伝いはもちろん、作った料理を振る舞いおもてなしをすることも大好きな子ども達。「お手伝いがしたい!」とエプロンを着け、こすもすさんから年中少児、年長児まで沢山の子どもがクッキングコーナーでのお手伝いを楽しんでいます。4月に入園した新入の子ども、年長児に優しく手を引かれ一緒に食べたり、「やってみよう!」とクッキングの楽しさに気づいたり泣いていた子ども笑顔になる姿も見られました。年長児は自分より小さな子と一緒に料理をする中で優しく声をかけてくれたり、手を添えて手伝ってくれたりと思いやりのある姿も見られました。そんな姿が見られた時には「ありがとう」と伝えると誇らしげな姿を見せています。今後も感染対策を十分に行いながら、子ども達の意欲や思いやりの心の育ちを大切にし、こどものもりでの四季折々の食べ物に十分に感じ、クッキングしていきたいと思えます。

クッキングコーナーの手伝いが大好きなすみれ組さん。料理をする際には誰が何をやるか子どもたちで話し合います。「僕はカップに入れる!」「お皿持ってあげるね!」「私はみんなにどうぞするね!」と声をかけながら1つのものを作り上げていました。1つのものを協力してみんなで作る楽しさや達成感を感じることができるコーナーとして、これからも料理に興味を持ってもらえるよう工夫していけたらと思います。



外あそびのコーナー: 少し不安そうだった新入園児も登園してくると、園庭ですみれ組さんが優しく手をつないで園内を案内したり、一緒に砂場や縄跳びなどで遊んでくれる微笑ましい姿がたくさん見られていました。4月中旬からは、こどものもりでもこいのぼりが揚がり始めました。「やねよりのかい〜♪」こいのぼりの音楽が流れると「今日はお父さんこいのぼり!」「お兄さんこいのぼりにする!」と毎日たくさんの子がお手伝いに来てこいのぼりを揚げていました。空を見上げ自分たちで上げたこいのぼりを嬉しそうに見ている姿もありました。5月には園庭の桜の木に太いロープを引っ掛けて作った手作りの「のぼりロープ」を設置しました。玉になっている箇所色を付け、誰がどの色まで登れたか名前を書く所を用意すると、「今日は緑まで登れた!」「昨日は緑だったのに今日は赤まで届いた!」とそれぞれ目標を決めて挑戦しています。園庭の真ん中ではルールのある遊びとして「転がしドッチボール」が盛り上がっています。昨年の経験を活かしながら年長児を中心に年中、年少児も参加し思いっきり身体を動かして楽しんでいます。また、転がし練習になればと、ペットボトルをピンに見立てたボーリングも始まりしました。10本倒すと「ストライク!」と喜び合いながら、真っ直ぐ転がすという経験を遊びながら練習しています。これから暑くなってきますが、水分補給をしっかりとし、木陰を作りつつ、子どもたちの意見を取り入れながらルールのある遊びも多めに体験していきたいです。

4月の下旬からやねよりの音楽が聞こえてくると鯉のぼりをあげる手伝いをしてくれる子ども達の姿がありました!「お父さん鯉のぼりあげたいな〜」「今日はね、赤ちゃん鯉のぼりあげるの」と自分の好きな鯉のぼりを選び、「頭の部分を今日は持つんだ!」「小さい子たくさんだからわたしこれ、譲るね」などと、どこを持ちたいかも考えている進級児でした。そしてひとつ大きくなった喜びと自信で小さい子に優しくしたり、助けてあげたりという姿もたくさん見られました! さくらさん、ちゅうりっぷさん、こすもすさんもお兄さんたちみたいにあげたい!と一緒に赤ちゃん鯉のぼりなどあげる手伝いを一緒にしてくれました!



ちゅうりっぷ組: 新入児(0才児6名・1才児4名)が入園し、4月の入園当初、泣いてお母様から離れなかった子ども保育者に手を伸ばして笑顔で来てくれるようになりました。0才児はベビーカーに乗って園庭に出ると「かわい〜ね!」と大きい子たちがやさしく頭をなでてくれたり、ベビーカーを押してくれて園庭散歩を楽しんでいる毎日です。ハイハイからつたい歩きができるようになった子は靴をはいて歩けるようになると色々なことに興味津々・・・行動範囲が広がってきていますのでケガや危険のないようにしながらも多めに探索活動ができるように見守っていきたく思います。

1才児はウサギやカモにニンジンや葉っぱをあげることが大好きで毎日嬉しそうに年長児のお当番さんの様子も見えています。又、砂場遊びやすべり台を大きい子と一緒に楽しんだり、手を繋いでもらって散歩にも出かけています。5月には食べ頃になったサクランボの赤い実とにらめっこして一粒選んで採り、種を取り除いて「モグモグ」と「おいしい〜」の歓声がうらやまそうに響いていました。お母様も保育者も一緒に楽しんで笑顔で来てくれる姿もたくさん見られました。また、お兄さんやお姉さんたちも一緒に楽しんでくれて嬉しく思います。また、お兄さんやお姉さんたちも一緒に楽しんでくれて嬉しく思います。また、お兄さんやお姉さんたちも一緒に楽しんでくれて嬉しく思います。また、お兄さんやお姉さんたちも一緒に楽しんでくれて嬉しく思います。



こすもす組: 4月から進級 15名に2名の新しいお友達が仲間入りし、17名の元気いっぱいこすもす組の子どもたち。新しい環境にもだいぶ慣れ、カバンを背負ってニコニコ笑顔で「おはようございます!」と大きい子の真似をして入り口であいさつしてくれる子、ちょっぴり恥ずかしそうにママの後ろに隠れている子など様々な姿を見せてくれます。

朝の支度を終えると、自分で行きたいコーナーへ友だちや保育者と一緒に行きます。栗の木での山登りや、砂場や虫探し、草花クッキング、クッキングコーナーのお手伝い、太陽の部屋や製作の部屋で思いおもいに楽しんでいます。そして「たがいま〜」「おやつきた〜?」とお部屋に戻ってきてフリーおやつタイム!ほっと一息できる環境をこれからも大切にしていきたいです。お散歩も大好き♪「今日はおさんぽに行く〜?」と楽しみにしている子どもたち。小さいグループに分かれ友だちを誘って手をつなぎ、園の畑やお寺でのかけっこ、大きい子と一緒に園バスでドライブに出かけることを楽しんでいます。また、こどものもりには実のなる木がたくさんあり、さくらんぼ、びわ、グミなどを収穫し「たねがでてきたよ」「あまいね」とみんなで味わいました。「これは何かな〜?」という気づきを大切にしながら、大きい子や小さい子の関わりの中で子どもたちいろいろなことを発見し、経験していきたいと思えます。梅雨の時期になりますが、体調に気をつけながらこの時期を子どもたちと楽しんでいきたいと思えます。



お散歩が大好きなこすもすさん、畑ではみんなで植えた「赤いパプリカ」に「おおきな〜れ!」と魔法をかけ毎日少しずつ大きくなっている葉や花を見て成長を楽しんでいます。畑の野菜の名前も少しずつ覚え、花や小さな実がなっていることを発見して「見て!大きくなってよ〜」と教えてくれます。園庭になる実を発見すると・・・4月下旬にはさくらんぼを味わい「あまいね〜」「中に種があるよ!」と発見し、先日はオレンジ色になったびわや真っ赤なグミを収穫し味わいました。びわを食べると「おおきな種があるよ!」「グミを食べると「こっちは小さい種が入ってるよ!」と新しい発見をし「種は食べちゃだめだよ!」と子どもたち同士で教えあっている姿があります。

日々、小さな、新しい発見をし、子どもたち同士の会話も増えてきています!

ことにかわい笑顔がたくさんみられるようになり嬉しい限りです。これからもゆったりと温かな雰囲気の中で楽しく過ごしていきたいと思えます。